

# ほうふ

Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

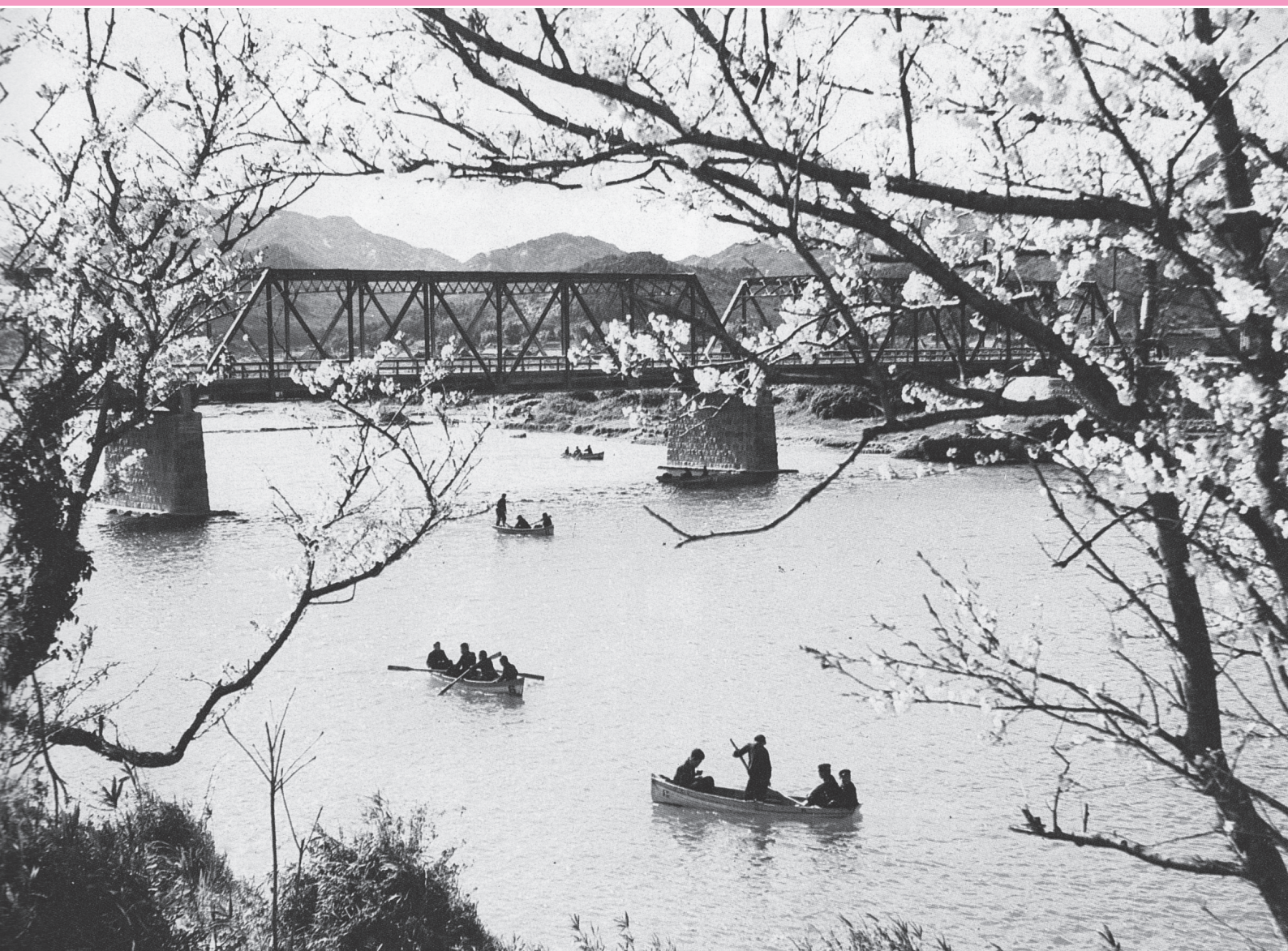
〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.16

平成22年2月15日



昭和30年代初頭の佐波川新橋付近

## 12月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P9
常任委員会の報告	P11

11月臨時議会	P3
一般・特別会計決算特別委員会の報告	P10
特別委員会の報告	P10
視察報告	P11
議会日誌	P12
3月定例議会の予定	P12



# 平成21年 12月 定例議会

12月定例議会は、12月2日から22日までの会期21日間の日程で開催されました。

平成21年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正、防府市まちの駅の指定管理者の指定など議案20件、選任2件、報告1件、決議2件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、副議長の交代により新たに松村学議員を選出し、各常任委員会の正副委員長及び議会運営委員会委員の選任も行いました。

主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

## 条例

### ■留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正

平成22年4月からの保育時間の延長に伴い、保育料の額を月額2千円から2千500円に改定するものです。

なお、長期休暇において延長保育を受ける場合は、月額3千600円の延長保育料が必要となります。

（改定後の保育時間）  
平日

午後5時45分まで

土曜日

午前8時30分から午後5時45分まで

夏休み等の長期休暇

午前8時30分から午後1時までとし、申し込みにより午後5時45分まで

### ■市営墓地設置及び管理条例の一部改正

自然災害により被害を受けた市営墓地を利用者が返還される場合において、納付した使用料の半額を還付するものです。なお、去る7月21日の集中豪雨により被害を受けた市営墓地の返還に係るものから適用されます。

### ■青少年科学館設置及び管理条例の一部改正

企画展や特別展などの催しを行う場合、開催経費が高いため、2千円を超えない範囲内で、負担していただくため観覧料を定めようとするものです。

## 人事・一般議案

### ■公平委員会委員の選任

島田佐富志さん（大字牟礼）が12月31日で任期満了となりますが、引き続き選任しました。

### ■固定資産評価審査委員会委員の選任

笠原高六郎さん（国分寺町）、中谷安彦さん（大字台道）、山本好子さん（大字新田）が12月17日で任期満了となりますが、引き続き選任しました。

### ■指定管理者の指定

新たに設置される「防府市まちの駅」については、平成27年3月までの5年間、一般社団法人防府市観光協会が、また、陸上競技場、武道館及び体育館については、平成27年3月までの5年間、コナミスポーツ&ライフ・日本管財グループ（東京都品川区）が指定管理を行うもので、承認しました。

### ■委託契約の一部変更

勸場川放水路河川改修工事に伴う山陽本線横断暗渠築造関連工事の委託契約の一部を変更するものです。内容としては、施工方法について地域住民との協議によるもので、夜間の工事から昼間の工事に変更することにより、設計の見直しを行い改めて契約するものです。契約金額は、7億9,000万円から9億3,128万3,000円に変更されます。

## 予算

### ■平成21年度一般会計補正予算（12号）

### ■平成21年度一般会計補正予算（13号）

### ■平成21年度特別会計補正予算

平成21年度一般会計補正予算（12号）では、歳入歳出それぞれ3億3,467万7千円を追加しました。内容としては、防府市まちの駅や体育館外2施設の平成26年度までの管理経費の債務負担の設定、消費生活センター開設のための経費、新型インフルエンザ対策として市内すべての保育園及び留守家庭児童学級に空気清浄機を設置する経費、子育て応援特別手当の廃止による減額、大光寺原霊園以外の市営墓地で被災された利用者に対して1区画当たり2万円の災害見舞金、また墓地返還希望者に永代使用料の半額を返還する経費、地震防災マップ作成の委託料、土砂災害防災マップ作成の経費などが計上され、原案のとおり可決しました。

また平成21年度一般会計補正予算（13号）では、新型インフルエンザ対策として、空気清浄機を市内の小・中学校の保健室内に設置する経費及び幼稚園（16園）への設置補助金が計上され、原案のとおり可決しました。

これにより補正後の一般会計予算の総額は430億9,377万円となります。

また競輪事業、公共下水道事業の2特別会計についても原案のとおり可決しました。

## 副議長就任あいさつ



副議長  
松村 学

昨年12月定例議会において、副議長に就任いたしました。

誠に身に余る光栄であり、その重責を痛感いたしております。

本市の発展と住民福祉の向上のため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

さて、本市は昨年7月21日に発生いたしました豪雨災害からの復興の途上にあります。また社会情勢は急激に変化しております。議会の果たすべき役割と責任はますます重要になってまいりますので、市民の皆様のご託に十分お応えできるよう決意を新たにいたしているところでございます。

市民の皆様のご、今後一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

## 行政報告

防災及び災害対策を専門的に行い、危機管理の総合調整を行う部署として10月1日より防災危機管理課を設置した。また豪雨災害を検証するため、学識経験者や市民代表、行政機関の関係者等による検証委員会を組織することとしている。

市の斎場（悠久苑）は、12月1日からすべての業務を再開した。大光寺霊園は面積で約60%の復旧、市道の被災箇所124カ所、河川の被災箇所151カ所について応急復旧が完了した。農地及び農業施設は合わせて94カ所について国の査定が終了した。

義援金については、第1次分として9,958万8千円を11月30日に被災者に配分した。

公営住宅等の入居については、被災直後は61世帯であったが、12月1日時点で市営住宅や民間賃貸住宅等に28世帯が入居されている。民間賃貸住宅の家賃補助については、平成22年3月まで延長することとしている。

## 決議

■ 防府市に所在する山口県行政機関の  
存続を求める要望決議

防府県税事務所、防府健康福祉センター及び防府土木建築事務所が、県の再編整備により、他地区の事務所と統合

される。また県立衛生看護学院についても、廃止を視野に入れた検討が進められている。これらの施設は是非とも必要な施設として存続を強く要望する決議を全員一致で可決しました。

■ 外国人への地方参政権附与に反対する決議

外国人に地方参政権を附与することに反対する決議が動議で出され、賛成多数で次の決議（要旨）を可決しました。

「国会に、永住外国人に対し、地方参政権を附与しようとする法案の提出が検討されている。しかし、世論調査の結果から見ても、多くの国民はこれに反対している。将来、地方が持つ権限は益々増大することが予想される。また、地方選挙の結果や地方議会の決定が国政を左右することも少なくない。我が国の政治を決定するのは日本国民であり、外国人にこれを委ねるべきではない。」

## 平成21年11月臨時議会

11月臨時議会は、11月24日に開催され、議案10件、承認1件、報告2件、認定1件を審議し、原案のとおり可決しました。主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

■ 平成21年度一般会計補正予算（10号）  
専決処分（10月19日）

歳入歳出それぞれ6,457万5千円を追加しました。内容としては、新型インフルエンザワクチン接種の実費負担に係る費用を軽減する事業が主なもので、承認しました。

■ 平成21年度一般会計補正予算（11号）

歳入歳出それぞれ1億9,000万円を追加しました。内容としては、災害により発生した約5万㎡の土砂の分別及び処理に係る経費とこれに対する国庫補助金などです。

これにより補正予算（10号）の専決処分と合わせて、補正後の予算総額は

427億5,909万3千円となります。

■ 職員の給与に関する条例等の一部改正  
国家公務員に準じて、職員の給料を平成21年12月から0.2%引き下げるとともに、期末手当0.1月分及び勤奨手当0.05月分を減額するものです。また議員、市長等の特別職と教育長の期末手当についても引き下げることになります。

■ 平成20年度決算の認定

一般・特別会計決算特別委員会委員長の報告を受けて、認定についての反対討論があり、採決の結果、賛成多数で、承認しました。

# Q&A 一般質問



12月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を3月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質問内容を要約したものを掲載しております。

## 「農」による地域再生

今津 誠一（六日会）

**問** いま「農」への関心が高まりつつある。背景に世界的食糧危機がある。「農」を地域再生の視点から見直すべきと思う。特にこれまで雇用のウエイトを占めていた産業から一部「農」への雇用のシフトが可能。「農」振興の具休策として①農大の活用、②農産物販売所の拡大を提案する。

**産業振興部長** ①考えていきたい。②努力していきたい。

**美しいまちづくりのための施策**

**問** 協働の視点から、ボランティアで雑草の除草、ゴミの収集を行っているが、「拾っても拾っても」ゴミの山で、なくならない。特にJR高架下がひどい。再三の指摘に拘わらず全く改善されない。



私は独自にJRと交渉し、JRから新たな対応策が示された。行政の責任で解決されたい。

**市長** JRに赴き話し合いたい。

**問** ボイ捨て、犬の糞の放置防止条例が用をなしていない。罰則規定を設けるべき。

**生活環境部長** 調査研究したい。

**問** 街路樹（低木）の立枯れが目立つ。夏場の充分な散水不足が原因ではないか。

**土木都市建設部長** 水遣りの回数を増やしたい。

**梅まつりによる観光客の誘客**

**問** 「梅一万本植栽計画」で天満宮の梅まつりの長期化、盛大化による観光客の誘客を提案した。どうなっているか。

**産業振興部長** 梅まつりの期間を2週間から一月となるように天満宮に働きかけたい。

## 市民の皆さんを優先した、観光振興を！

山田 耕治（民主・連合の会）

**問** 防府市を訪れる観光客の推移は、どのように変わってきたのか？

**市長** 平成12年度に、各施設に調査員を配置し

実態を調査・分析した結果、平成14年度は68万人であった。以降減少傾向だった観光客が平成20年度は、72万人となり、増加傾向に転じた。はも塾等の努力やさまざまな方法で、観光客の増加に努めている。

**問** 平成22年度までに、80万人とマニフェストに謳われているが、見込みはどうか？

**市長** 平成22年度には、まちの駅開館、国体も開催されるなどマニフェストに掲げた観光客80万人の達成は可能と考える。

**問** 観光ガイドさんの意見が反映される仕組みになっているのか？

**市長** 観光協会を通して、サインやアプローチの改良に役立っている。

今後一層、ボランティアガイドが充実するように、市としても支援していきたい。

**問** 乳幼児連れの母親が気軽に授乳やおむつ替えができる「赤ちゃんの駅」を設置しては？

**市長** 今から、その事柄を、しっかりと頭の中に入れて、可能な所・工事中の所も含め、その様な形に出来ないか、前向きに取り組んで参りたい。

**要望** まちの駅の施設内にある大型スクリーンに、地元産業のPR宣伝も映し出す等、今後も行政が中心となり、しっかりと考えていただくこと。

また、「赤ちゃんの駅」をまちの駅や公共施設へも水平展開していただき、市民の皆様が気軽に立ち寄れる場所にしていただくことを要望する。

**その他の質問項目**

◆ 県立高校  
再編整備について



## 政治倫理条例は どうなった？

伊藤 央（息吹）

**問** 来年は市長・副市長の任期が満了する。市長には2,188万円（12年間）、副市長には1,430万円の高額な退職金が支払われる。防府市は未曾有の災害に見舞われた上、不況により厳しい経済状況におかれている市民も多い。宇部市では市長・副市長の退職金を半減する条例改正案が可決の見通しだが、以前述べられた「しっかりと働き、しっかりと頂戴する」という気持ちは変わらないか。

**市長** 何ら変わりはない。

**副市長** カットという方向性は無い。

**問** 政治倫理条例の制定に市長が言及してから2年が経過しているが、進捗状況は。

**市長** 市が実施する請負業務や物品納入等をしている者への制約や、政治への参加、自由な経済活動の制約等があり、協

議会設置には至っていない。

**指摘** 2年間何もしていないという点ではないか。（お茶の不適切な取引の）批判をかわす為、決算承認を有利に進める為だったのか。来年の市長選に間に合うよう制定すべきだった。

**問** 過熱するスポーツ少年団、中学校部活動への対策は。

**教育長** 県の遵守事項に沿ったスポーツ少年団規約作成を考えている。部活動については指導に努める。

松浦市長が受け取る退職金

1期目	2,764万円
2期目	2,188万円
+ 今任期後	2,188万円
合計	7,140万円

## 市民サービスの向上について 女性のがん対策、成人式について

高砂 朋子（公明党）

**問** 平成22年4月消費者生活センターが設置されるが、相談内容が複雑多岐、深刻になっている現状下、プライバシーが守れる部屋の確保、専門相談員の増員が必要。市政なんでも相談課等との連携も図り、機能、体制の充実が必要では。

**市長** 同センターは、相談内容が外に漏れないよう配慮し、各課との連携が取り易いよう市政なんでも相談課の中に設置する。マンパワーが全てなので専門相談員を増員して対応していく。

**問** 休日開設の市民サービスセンターをルルサスに開設しては。公共施設にコミュニケーションボード（筆談器など）を設置しては。

**市長** 毎週木曜日19時までの窓口業務サービスの周知を図り定着させた。休日開設は時代の流れと認識しているが、課

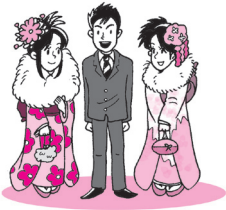
題もあるので慎重に検討したい。コミュニケーションボードは設置していく。

**問** 平成21年秋配布された乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券が、より多くの方に利用していただけるよう、また同がん検診率向上のためにあらゆる工夫をしてほしいが。

**健康福祉部長** 啓発ポスターの掲示、1〜3月の集団検診6回のPRも市広報等とする。

**問** 成人式をお正月午後開催にして、より多くの青年が集いやすいようにして、お祝いしてほしい。

**教育次長** アンケートを取り、実行委員会が協議する。



## 産婦人科医師の増員と施設の新設 ハザードマップの早期配布を

大田雄二郎（明政会）

**問** 出産可能な医療施設が、山口県総合医療センターと民間産婦人科の2施設のみで不足しており、産婦人科医師の増員と施設の新設を。

**市長** 産科医と助産師の確保、周産期センターの充実を要望。市単独の取り組みも含め検討するほか、国・県に要望。

**問** 7月21日の豪雨災害に係る義援金の配分と、すべての振り込みを12月28日までに完了することについて。

**市長** 2次配分については、意見を踏まえて次回配分検討委員会で協議されることになっており、できるだけ早く公平に配分したい。

**問** 地籍調査事業も被災地を最優先ですることについて。

**市長** 災害で地籍調査事業の有用性を再認識、復興後行う。



水、高潮ハザードマップの早期配布について。

**市長** ハザードマップは土砂災害については地形図に避難路を追加して今年度中に作成、佐波川洪水については来年度委員会を設置し更新。

**問** 人丸橋と大崎第二橋の緊急・安全対策について。

**土木都市建設部長** 来年度心急補修予定。

**問** デフレによる不景気対策として、公共工事の分割発注について。

**入札検査室長** 市内業者の受注機会の確保が図れるよう、発注していきたい。

### 高潮対策について

藤本 和久(民主・連合の会)

**問** 防府市は、昭和17年8月に台風による高潮災害で死者62人、負傷者30人、流出家屋234戸、全壊家屋237戸、半壊家屋432戸、床上浸水2840戸等甚大な被害を受けた。その後、各地で桶門の設置や護岸の高上げ等を実施し、高潮に対する安全性はかなり向上していると思うが、実態はどうか。

**市長** 海岸は、国の所管省庁ごとに、水産庁所管の漁港海岸、農水省所管の農地海岸、国交省所管の港湾海岸及び一般海岸に分類されている。本市において防護すべき海岸は約47キロメートルある。現在も、護岸・堤防等の改良を行っており、その高さは、水産庁が、6.9mから7.8m、農水省が、7.2m、国交省が、7.6mを基準に整備している。整備状況については、漁港海岸は



現在整備中の事業が終われば概ね完了する。農地海岸は平成23年度で完了の予定。港湾海岸は平成29年度で完了の予定。現在計画中の事業が終了すれば、平成11年の台風18号規模の高潮には耐えられると考えている。

**その他の質問項目**

- ◆安全管理体制
- ◆地球温暖化対策
- ◆地域医療体制
- ◆安全な道路整備
- ◆道路橋の安全性
- ◆アーケードの安全性

### 行政改革について 〜明確なビジョンのある行政改革を〜

原田 洋介(息吹)

**問** 松浦市長は就任以来、市政の最重要課題として行政改革に取り組んできた。その成果を改めて伺いたい。

**市長** 行政の効率化・スリム化等により、これまで約50億円の経費を削減するなど多大な効果をあげてきた。

**問** 率直な感想と云えば、「いくら減らした」ということだけが前面に出て、「市民サービスがよくなった」という話は聞かえてこない。保育所の民間移管、学校給食の一部民間委託などは市民の反対運動が起こるなど、市民の理解が得られていないものも多い。市民への周知はどのように行われているのか。

**総務部長** たしかに周知不足はあったかもしれない。今後はそういうことがないよう気をつける。

**問** 新たな行革項目として、「地域コミュニティ

の再構築」が進められている。どういうことなのかよくわからない。各地域で自主的に行われている活動に支障が出るのではないか。

**総務部長** ただ単に経費を削減することが目標ではなく、各地域がより自主的な活動が行えるよう地域コミュニティを構築していくものである。

**問** 新政権の下、「事業仕分け」が公開で行われ注目されたが、このような取り組みをしていく考えはあるのか。

**財務部長** 短時間での仕分け、明確な基準がないなどの問題もあり、事業の評価については見極めながら対応していきたいと考えている。



### 公共サービス基本法 公契約条例の制定について

青木 明夫(民主・連合の会)

**問** 公共サービス基本法が衆参両院の本会議で可決採択され、7月より施行されたが、どのような扱いにしているのか。格差是正の観点から労働環境の整備に関して努力義務を課されているが。

**総務部長** 窓口業務などについては、市民本位でよりよいサービスの提供。公共サービス提供の責務を果たしている。

**問** 受託事業者の労働環境の対応は、国・県・近隣市町の対応を見ながら施策を研究したい。

**問** 千葉県野田市では公契約条例が制定され、同時に全国の自治体に共同歩調を呼びかけています。がどのように評価され、条例化するとしたら課題があるのか。

**総務部長** 野田市では、公契約の対象となる労働者に支払うべき賃金の最低基準を受注者に義務づける公契約条例を制定し

ましたが、賛否両論があり、今後、県や他市の動向を注視し、調査研究したい。

**問** 国では「事業仕分け」が行われたが、市民が参加し、採決は公開で行う「事業仕分け」が可能かどうか。

**財務部長** 「事業仕分け」を行った自治体は40程度。一事業あたりの判断基準が示されていないなど、その必要性を含め、可能かどうか研究する。

**問** 任期2年目にマニフェスト検証大会が行われたが、市長マニフェストの達成状況。次の市長選挙でのマニフェストは重要と思うが、市長選への立候補の有無と併せて伺いたい。

**市長** マニフェスト全体としては、概ね目標を達成している。市長選挙については、遅くならないうちにはつきりさせなければと思っています。



### 無宗教献花方式の戦没者 慰霊祭を市主催で実施を！

土井 章(明政会)

**問** 本市では、自治会の

寄付金を主財源に護国神社奉賛会主催で、招魂祭が行われているが、自治会の寄付は減少しており、今後、この傾向は続く。一部市民の善意に頼るのではなく、多くの市のように市主催で戦没者追悼式を実施すべき。

**市長** 奉賛会ほか関係団体と協議を行い、理解が得られれば、市主催で行う。(今までと同じ回答)

**問** 7月豪雨災害から4カ月。防災体制の不備、問題点を徹底検証し、来年度予算に反映させる必要あり。今日までに分かった点は？ また、他市の先進事例を本市でも実施してはどうか。①新採職員を1カ月消防署で研修。②警報が出たら、職員を各地区に配置し、情報収集を行う。③防災無線を優先受信できるラジオを格安で、希望者に配布。④危険河川に防犯

兼用監視カメラの設置。

**総務部長** 各種情報、資料を取りまとめ、整理しているところ。提案の事項については検討する。

**問** 教育、監査、公平、選管、農業委員の報酬月額は、勤務実態に照らして適正か。

**総務部長** 県内他市と比較しても、妥当と考えているが、見直しの傾向も有ることから、本市でも検討に入る。

#### その他の質問項目

◆大平山農道の復旧状況

◆墓地及び墓園条例の整合性について

◆自治基本条例の周知について

◆運転免許証返納に伴う住基カード無料発行と大平山農道の各種割引制度の在り方について

◆有効期限切れの政治活動用看板の取り扱いについて

◆来年度予算の編成方針

### 子どもを産める産科医療機関の 充足を求める

重川 恭年(民意クラブ)

**問** 市内の産科医療機関

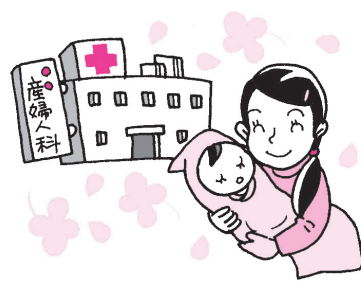
が急速に減少し、子どもを安心して出産できる環境に無いが、この現状をどう認識しているか。

**市長** 今の状況に対して市民の皆様が大きな不安を持たれていることや、産科医・助産師の方々がご苦労されていることは十分理解しているもので、有効な手段と対策を検討・協議すると共に国・県にも要望していきたい。

**問** 現在の実態は県立総合周産期母子医療センターを除くと人口12万人の市に一医療機関しかない。センターはハイリスクを負っておられる方々が主で通常分娩、里帰り出産等は制限されている。このような状況は看過できないのではないか。

**健康福祉部長** 今年度は国の緊急経済対策により産科医などの確保支援事業に取り組みと共に、府医療圏域の方々の総意

として「産科医・助産師の確保」「県立総合周産期母子医療センターの拡充」等を盛り込んだ地域医療再生制度の要望や意見計画を県に提出している。



**要望** 要望書等の提出だけではダメで、その後の追跡や情報収集そして実現に向けた十分な取り組みや対応をお願いする。更には市民病院的な要素もある県立総合医療センターに対する支援も必要ではないかと要望しておきたい。

### 農地の災害復旧の自己負担軽減を 福祉医療制度の新年度への継続を

山本 久江(日本共産党)

**問** 豪雨災害は、農地に

甚大な被害をもたらした。この災害復旧事業の対象となる農地は、被害額が1カ所40万円をこえるものだが、農家負担は約1割といわれており、大変重い。軽減ができないか。

**市長** 今回の被害は、稲等農作物への被害以上に土砂の流入等による農地の埋没等、過去に例をみないほど深刻なものになった。農家の負担率については、5%に軽減したい。

**問** 被害額40万円未満及び補助事業による復旧の対象とならなかった被災地も深刻だ。被災地域は、高齢化もすすみ「農業は続けられない」と切実に訴える方もおられる。支援ができないか。

**市長** 新たな支援策について検討をしているところだ。

**問** 急がれるが、その時期は、いつ頃か。

**産業振興部長** 1月中旬頃には決めたい。

**問** 今年度、県が、重度障害者、ひとり親家庭並びに乳幼児に関わる福祉医療制度に自己負担金を導入し、現在、この負担は市が担っている。自己負担のない現在の制度の継続を要望したいが、どうか。

**健康福祉部長** 今後モ安定的に維持できるように、県へ負担のあり方について再考を求める。市単独の負担は、慎重に検討したい。

**その他の質問項目**

◆橋梁の点検と長寿命化修繕計画策定について

◆肺炎球菌ワクチンへの助成について

◆大腸がん検診の充実



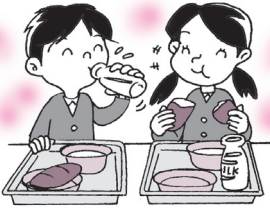
### 今年度も募集要項を甘く変更 — 小学校給食民委託 —

田中 健次(市民クラブ)

**問** 小学校給食の来年度委託(牟礼・佐波小学校)の募集要項を業者に甘くしているのはなぜか。

**教育次長** 指摘のよう、「食品衛生法の営業停止処分」について、従来の「業者の全ての業務」から「学校給食調理業務」に限定しました。他の市町では、そこまで厳しくない市町もあり、また学校給食では厳しい衛生管理基準で調理しており、応募資格を変えてもよいと判断しました。

**意見** 昨年は管理栄養士の必置を栄養士に変更、今年度も募集要項を甘くした。これでいいのか。



**問** 来年度委託予定の2校の給食施設の改修はできているか。

**教育次長** 牟礼小学校は昨年度に改修。佐波小学校は、今年度に基本的な改修を行いました。天井部分の改修は平成22年夏休みにいきます。

**要望** 検収と下処理が別の場所でない学校もあり、改修してほしい。

**学校図書館振興プランを**

**問** 学校教育において、学校図書館に求められる役割は大きくなっています。防府市の学校図書館を具体的に振興するプランを策定すべきでは。

**教育次長** 具体的に振興するプランの策定に係る検討を行っています。

学校、地域、市教委の関係課がしっかり連携を図りながら、学校図書館の充実に努めます。

**その他の質問項目**

- ◆ 地域公共交通について
- ◆ 公契約条例について

### 運賃を援助し野島に生鮮野菜を 消費者と生産者が支える農業へ

木村 一彦(日本共産党)

**問** 平成20年、野島で唯一の食料品店が廃業したため島民は生鮮食品、とくに野菜が手に入らなくなり困っています。市は野島漁協にお願いで野菜などを扱ってもらえないか検討していると言っていますが、人手やリスクなどの面で実施は困難なようです。むしろ、生協やJAあるいは行商の方などに船賃を援助して協力してもらう方がいいのではないかと思います。



野島棧橋

**総務部長** 必要性は痛感しています。方法についてはそれらを含めて相談していききたい。

**問** 野島三田尻港間の船賃は往復1500円で県内でも割高です。島民の「足」として生活に欠かせないものですから何らかの負担軽減策を。

**市長** あらたな割引運賃も含めてなんらかの負担軽減策を検討したい。

- ◆ 住宅リフォーム助成制度の導入について
- ◆ その他の質問事項

### 地球温暖化防止 特定健診について

山根 祐一(公明党)

**問** 鳩山首相は温室効果ガス25%削減を表明したが市長はどう考えるか。

**市長** 国際社会の中で先導的立場の宣言と捉えており、経済の活性化を期待する。

**問** 本市の地球温暖化対策の取り組みと効果は。

**市長** レジ袋無料配布の中止では市内の削減効果は二酸化炭素換算で三三〇tを超える成果を得た。他に太陽光発電設置補助、環境家計簿配布、毎週水曜日のノーマイカーデー、市有施設の省エネ化を推進している。

**問** 今後の取り組みは。

**市長** 現在の施策の継続が重要。調査研究を続け、地球温暖化防止に向けた取り組みを強化したい。

**問** 特定健康診査の実施



状況、効果はどうか。

**生活環境部長** 平成20年度は受診率24・6%、保健指導受診率は6%であった。平成21年度は途中であるが同時期比で受診率0・4%増。

**問** 受診促進の施策は。

**生活環境部長** 市広報、ホームページその他で被保険者へ呼びかけ、未受診者への受診勧奨通知も検討している。

**問** 受診率によるペナルティを知らせては。

**生活環境部長** 後期高齢者医療制度は廃止されると聞いている。今後の情勢を見て判断したい。

**問** 健診の項目が従前の基本健診や人間ドックの検査項目に比べ少ない。

**生活環境部長** 被保険者の健康を守り、医療費の抑制に資するため、従来の基本健康診査の項目に近づくとともに、心電図、貧血検査等の追加健診を検討する。



**前兆現象の聴取など地元で検証会  
（身障者専用  
駐車場）不正駐車防止システム設置**

三原 昭治（民意クラブ）

**問** 市は災害検証委員会を立ち上げるが、事後的な検証会ではなく、防災（住民避難）で重要な前兆現象の把握のため被災地で検証会を開き、生の声を聴取すべきだ。

**総務部長** 被災地でも検証会など対応を行いたい。

**問** 究極の防災はいち早く避難することであり、市民の率先避難体制確立のために自主避難体制の対応の充実を。

**総務部長** 現実的な対応が出来るよう検討する。

**問** 新体育館の競技用備品で、既存体育館の古い備品を使用すると聞いているが、新体育館にふさわしい、市民のニーズに合った備品の導入を。

**教育次長** 新体育館にふさわしい、使用しやすい実用に合った備品の調達に努める。

**問** 一部の物故者のみに出している市長名の弔電を止め、公平性の観点か



らなくなられた方全員に市長からのお悔やみメッセージ（弔意文）を出すようにと提案していたが。

**総務部長** 市長からのお悔やみメッセージについては、来年度から市民課の窓口でお渡しするようになる。

**問** 身体障害者専用駐車場への不正駐車防止のために音声や光などで注意を流すシステムを設置することに、予算化されているが、一体どうなっているのか。

**総務部長** 12月に業者選定を行い、年明けの早いうちに設置する。

**高齢単身者用の市営住宅の入居について  
雇用促進住宅の買い受けについて**

山下 和明（公明党）

**問** 高齢単身者用の市営住宅は部屋の広さに制限があり、公募に出る戸数が少なく、市街地から遠いことから不満の声も多く伺います。そこで高齢単身者の方が入居しやすくするために、市街地で単身者用の戸数を増やす配慮はできないか。

**市長** 単身者が入居可能な住宅は、ファミリー世帯でも応募できますことから、今後、募集に際しては、単身者に配慮した制限を設けるなど、他市の状況も踏まえ検討したい。

**問** 雇用促進住宅の譲渡、廃止等についてはご承知のことであり「田島、北山手、北山手第2、牟礼」が対象と伺っている。今後の住宅運営において、雇用促進住宅を市営住宅として購入することは、住宅運営の最善策と考えるがいかがか。



**市長** 独立行政法人雇用・能力開発機構では、平成22年11月30日を最終的な明け渡し期限として説明してこられたが、その後、経済情勢の悪化により、少なくとも3年間は実施しないという決定がされた。今後の方針を注視し、購入も視野にいれ検討したい。

◆ 民有共同墓地への整備補助金制度について

◆ その他の質問事項  
◆ 新規の墓地・墓園及び納骨堂の設置計画について

**議会運営委員会の委員名（任期1年）**

委員名（◎委員長、○副委員長）	委員数	所管事項
◎河杉憲二 ○山根祐二 青木明夫 大田雄二郎 田中敏靖 土井 章 原田洋介 三原昭治 山本久江	9	議会の運営に関する事項・ 議長の諮問に関する事項等

**常任委員会の委員名（任期2年）**

※正副委員長が12月に交代しました

委員会	委員名（◎委員長、○副委員長）	委員数	所管事項
総 務	◎安藤二郎 ○青木明夫 今津誠一 斉藤 旭 田中敏靖 土井 章 弘中正俊 三原昭治 山根祐二	9	企画・財政・税務・消防・ 競輪・選挙など
教育民生	◎伊藤 央 ○高砂朋子 河杉憲二 重川恭年 田中健次 松村 学 山田耕治 山本久江 行重延昭	9	戸籍・国保・年金・生活・ 健康・福祉・教育など
産業建設	◎山下和明 ○大田雄二郎 木村一彦 久保玄爾 佐鹿博敏 中司 実 原田洋介 藤本和久 横田和雄	9	商工・観光・農林・水産・都市計画・ 上下水道・住宅・道路・公園など

**一般・特別会計決算特別委員会の報告**  
（10月13日～15日開催）

平成20年度一般・特別会計の決算への質疑や要望の主なものと、結果をお知らせします。

市議会議員選挙と衆議院議員総選挙のポスター掲示板を一緒に作成したのは、目的外流用ではなかったのか、との質疑に対して、当時、総選挙が近いと予想され、この時点では最善の方策であると考えて決定しましたとの答弁がありました。

雇用奨励金は正社員雇用を条件とすべきでは、との質疑に対して、操業開始日の前後6カ月間に市内に住民票がある人を、雇用保険に加入のうえ、新たに1年以上雇用した場合に交付しています。正社員雇用を要件とすることは、他市の状況も見ながら、検討したいと考えていますとの答弁がありました。

また要望として①留守家庭児童学級のうち華浦については、3年生が待機している状況であり、今後の対応をお願いしたい。②橋りょう健全度把握調査による不良箇所を早期整備や消えかかっている横断歩道や区画線などの塗替えと、通学路のカラー舗装を中学校校区にも拡大すべき。③天神町銀座商店街のアーケードは老朽化しており、早期に商店街と改善方針を協議すべき。④下水道

事業債は、平成30年までに約50億円程度増える計画であるが、財政健全化の観点から、もう少しならかな事業の進め方を再考すべき、などがありました。

また討論で市立保育所の民間移管に関する経費が計上されていること。当初予算で反対した小学校給食調理業務の民間委託が執行されたこと。市議会議員選挙費の中に、平成20年度は執行されなかった衆議院議員総選挙のポスター掲示場設置委託料が含まれていること。創設された後期高齢者医療制度の経費が支出されていること。生活保護費の母子加算の廃止や、就学援助費の収入基準引き下げなどの国の政策が、そのまま実施されていること等の反対意見がありました。賛成多数により承認しました。



## 特別委員会の報告

**観光振興対策**  
**調査特別委員会**

（9月18日開催）

●観光振興の施策と体系について  
防府市の観光の現状と課題を整理し、これを素案として観光振興懇話会を始めとする各界の意見を聞き、中長期的な観光振興計画の策定につなげる予定であることの説明を受けました。

●観光客動態調査について  
平成21年の5月から7月までの間、防府天満宮、阿弥陀寺、大平山、毛利氏庭園など主要観光地で実施した来場客数の調査とアンケート結果の報告を受け、今後の観光振興の基礎データとして活用したいとの説明がありました。

●まちづくり交付金事業について  
防府信用金庫宮市支店前から防府天満宮鳥居西側までは、自動車と歩行者の共存道路として整備し、電線類は完全地中化になります。萬行寺から周防国分寺までの  
修景整備は、  
現在、景観デザイン  
の検討  
等を業務委託  
しているとの  
説明がありま  
した。



**地域活性化**  
**調査特別委員会**

（11月10日開催）

●中心市街地の活性化について  
空き店舗対策では、チャレンジシヨップ事業や空き店舗活用促進事業で8店舗が開業中です。

にぎわい創出対策では、商店街ごとのイベントのほか愛情防府フリーマーケットはにぎわっていますが、いずれも一過性で、売上げの増加にはつながっていません。

ルルサス防府では、図書館などの公共施設の利用者は増加しているものの店舗の集客にはつながらず、空き店舗が増加しており、不景気などの影響で誘致が進まないとの説明がありました。

ルルサス防府の  
空き店舗対策は  
どうかとの質疑に  
対して、事業所誘  
致促進補助金の活  
用を奨めていると  
の答弁がありま  
した。



●雇用対策について  
雇用奨励金制度では、約4年間で延べ10事業所、325人が新規に常時雇用されました。また、市は企業誘致用の土地を所有していないため、企業所有の未利用地の活用を所有者と協議中との説明がありました。



# 常任委員会の報告

## 総務委員会

### ●一般会計補正予算（12号）

歳入の主なものは、災害復興支援競輪に伴う競輪事業収入が計上されています。歳出の主なものは、豪雨災害検証委員会にかかわる経費や全国瞬時警報システム機器改修委託料が計上されています。

### ●競輪事業特別会計補正予算（3号）

13億9,400万円の増額となっています。その内訳として、増額要因では、豪雨災害復興支援競輪開催に伴うものがありますが、一方減額要因として、豪雨災害により1節開催中止に伴うもの等があります。

## 教育民生委員会

### ●一般会計補正予算（12号）

歳出の主なものは、平成26年度までの体育館外施設の指定管理経費の債務負担行為の設定や、平成22年4月1日から消費生活センター開設にかかわる所要の経費、新型インフルエンザ対策として保育所、病児・病後児施設、留守家庭児童学級に空気清浄機等を設置する経費、生活保護費の受給者の増加に伴う扶助費等の増額補正のほか、国の子育て応援特別手当事業の廃止決定により、当該手当支給にかかわる所要の経費が減額補正されています。

本会議において体育館外施設の指定管理者の指定に反対したので、

予算にも反対するとの意見がありましたが、賛成多数で承認しました。

## 産業建設委員会

### ●一般会計補正予算（12号）

歳出では、豪雨災害で被害を受けた農業・林業・土木施設等の国の災害査定が一部終了したことに伴い、既に予算計上している額と内示額とを調整するものです。また、土砂災害防災マップや地震防災マップの作成経費が計上されています。

補助災害復旧事業から外れた道路及び河川では修繕事業等で、山林は治山事業等  
で対応し、  
また、農地  
や農業施設  
では、補助  
対象外の支  
援策を検討  
しているとの  
説明があり  
ました。



市道牟礼港美濃越線の応急復旧箇所

### ●公共下水道事業特別会計補正予算

汚水管渠の維持管理経費や浄化センターの汚泥運搬処分費及び市道への管渠工事費をそれぞれ増額補正するものです。また、上下水道事業の組織統合に伴う電算関係業務委託経費について、平成22年度までの債務負担行為を設定するものです。

# 視察報告

## 総務委員会

### 災害後の体制強化（岡谷市）

11月16日から18日に、愛知県知多市、春日井市、長野県岡谷市の行政視察を行いました。

岡谷市は平成18年7月、本市と類似した土砂災害を受け8名の方が亡くなりました。災害対策に取り組んでこられました。災害直後、被災者の一日も早い生活再建のため、市独自の「豪雨災害被災者支援金制度」の創設をはじめ、国・県との連携のもと復旧・復興対策を実施しました。現在も、「災害に強いまちづくり」を重点施策として、防災行政無線を自動受信できる「防災ラジオ」を千円で希望する住民に配布しています。また、災害時、住民に対して的確な情報を提供できるように地域ケーブルテレビを利用した行政チャンネルの開局、市内の主要河川8カ所に監視カメラを設置して状況を把握し、平常時は防犯カメラとしての役割を果たしています。そのほか防災組織の充実や、防災訓練を徹底しています。本市も今後、行政、地域、市民が一体となり防災対策に取り組むことが肝要です。



豪雨災害記録誌  
ダイジェスト版（岡谷市発行）

## 産業建設委員会

### まちなみ整備事業（山鹿市）

10月27日から29日に、熊本県山鹿市、熊本市、天草市の行政視察を行いました。

山鹿市は古くから温泉宿場町として、また交通の要衝として栄えてきたまちです。そのため、古いまちなみや伝統的建造物が存在し、主要道路の沿線に集積していますので、これらをまちづくりに活用しようと「まちなみ整備事業」に取り組んできました。

国の重要文化財芝居小屋「八千代座」の平成8年度からの大改修工事を契機に、周辺地区全体の整備計画を策定し、景観形成基本計画などとあわせて体系的に整備を進めました。整備地区では、電線地中化や、歩道に地元産の鍋田石を使用しています。市では補助金の要綱も制定し、地元住民の協力も得て、一体的な落ち着きのある景観形成がなされており、平成19年には国土交通省の「美しいまちなみ大賞を受賞しました。



景観形成後の八千代座付近

# 議会日誌

## 11月

- 5日 報告会  
・「防府市の体育施設」の指定候補者の選定
- 10日 地域活性化調査特別委員会
- 16日 総務委員会 行政視察(～18日)  
・コミュニティ活性化プログラム(知多市)  
・都市交流拠点将来ビジョン(春日井市)  
・災害後の体制強化(岡谷市)
- 19日 議会運営委員会  
報告会  
・「防府市まちの駅」の指定候補者の選定  
・「市税等コールセンター」の委託業者の選定
- 24日 臨時議会  
説明会  
・防府市水道ビジョン(案)及び防府市次世代育成支援後期行動計画(案)に対するパブリックコメントの実施
- 25日 会派代表者会議
- 27日 議会運営委員会  
勉強会(補正予算、条例改正等)
- 30日 議会運営委員会

## 12月

- 2日 12月定例議会開会  
広報編集委員会
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)  
議会改革推進協議会
- 11日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 16日 総務委員会  
教育民生委員会  
産業建設委員会
- 22日 12月定例議会閉会  
議会運営委員会  
議会改革推進協議会  
広報編集委員会
- 24日 議会まちづくり委員会

## 1月

- 6日 広報編集委員会

- 19日 議会基本条例講演会  
広報編集委員会
- 20日 総合交通体系調査特別委員会 行政視察(～22日)  
・中心市街地循環バス(掛川市)  
・商業施設とのタイアップによるNPO運営バス(津市)  
・NPO法人による路線バス運営(四日市市)
- 25日 説明会  
・農地・農業用施設の災害復旧事業  
・子ども読書活動推進計画(案)に対するパブリックコメントの実施  
議会運営委員会
- 27日 教育民生委員会 所管事務調査  
・青少年科学館 天体観測施設  
広報編集委員会
- 28日 総務委員会 所管事務調査  
・豪雨災害検証委員会
- 29日 産業建設委員会 所管事務調査  
・災害復旧

### 3月定例議会の予定

- 2月25日 本会議(開会)
- 26日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会)
- 3月 2日 本会議(委員長報告、市長施政方針演説)
- 4日 本会議(新年度予算審議)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 15日 常任委員会(総務委員会)
- 16日 常任委員会(教育民生委員会)
- 17日 常任委員会(産業建設委員会)
- 25日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

### 編集後記(表紙の説明)

昨年11月から上映中の「マイマイ新子と千年の魔法」の舞台は、なつかしい昭和30年の防府です。そこで、今年発行の議会だよりは「マイマイ新子」の時代のふるさとを振り返ってみたい。

今回は、春爛漫の佐波川新橋近辺です。新橋上流の左岸は、「桜の名所」として、花見客で賑わいましたが、堤防の改修とともに堤防保護のため昭和41年までに桜並木は、姿を消してしまいました。

また、佐波川は、新橋下流の仁井令堰で堰き止められ、新橋付近は、ボート遊びに興じる家族連れ等の憩いの場でもありましたが、昭和34年に白坂に総合堰ができて、水量が減少してしまい、ボート遊びも出来なくなりました。

一方、写真の新橋は、昭和26年の佐波川洪水にも耐えましたが、老朽化により昭和34年に架け替えられ、さらに昭和52年に旧橋の下流に新しい橋が完成。旧橋の補修を経て、昭和54年から上下専用線に分離供用され、今日に至っています。

今年発行の「ほうふ市議会だより」は、次のメンバーで編集いたします。市民の皆様が親しまれ読みやすい紙面づくりに努力しますので、よろしくお願ひします。

#### 議会広報編集委員会

◎音藤 旭 土井 章

○河杉憲一 山根祐一

大田雄一郎

(◎委員長、○副委員長)